

# 議会だより



ガンバレ！お母さん（原保育所）

撮影：鵜沢一男 編集委員

平成 25 年 11 月  
第 149 号

町のホームページで議会だよりや議会の  
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

## 庁舎建設関連経費を追加

- 9月定例議会で決まったこと …… (2)~(3)
- 一般質問8名の議員より …… (4)~(11)
- 議会の動き・編集後記 …… (12)

# 9月定例会

平成25年第3回一宮町定例会は、9月18日に開催され町長の行政報告をはじめ、一般質問は8名の議員がおこなわれました。

また、議案として報告2件、条例の制定2件・条例の一部改正4件・同意2件、諮問1件、一般会計の他3特別会計補正予算が原案とおり可決しました。

## 決算審査特別委員会を設置

平成24年度一般会計・特別会計の決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に付託されました。

委員長	島崎 保幸
副委員長	志田 延子
委員	鶴岡 巖
委員	吉野 繁徳
委員	袴田 忍
委員	鶴沢 一男

## 補助金検討委員会条例を制定

自立した健全な財政運営に向け、限られた財源が有効かつ効率的に活用されるよう、町単独で交付している各種団体補助金の適正な交付や透明性を、第三者からなる中立的な立場から検討することを目的に、一宮町補助金検討委員会条例が制定されました。

## 健康づくり推進協議会設置 条例を制定

町民の総合的な健康づくり対策を推進することを目的とした町の附属機関として、一宮町健康づくり推進協議会設置条例が制定されました。

## 税条例の一部改正

平成25年6月12日に公布された地方税法の一部を改正する法律の施行にともない、所要の整備を行いました。改正の主な内容は、個人町民税の公的年金からの特別徴収に係る見直し、及び金融資産の課税の変更にともなう、個人の株式及び公社債等に関する規定の整備を行いました。公的年金からの特別徴収関係は平成28年10月1日から、株式譲渡所得関係については、平成29年1月1日からそれぞれ施行されます。

## 国民健康保険税賦課徴収 条例の一部改正

平成25年6月12日に公布された地方税法の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令の施行にともない、所要の整備を行いました。改正の主な内容は、特定公社債等の利子などに係る所得が分離課税の対象となり、また株式等の申告が、上場株式と一般株式に係る譲渡所得等の申告分離課税に改組されたことにともない、規定の整備を行いました。

## 介護保険条例の一部改正

平成25年3月30日に公布された、地方税法の一部を改正する法律の施行にともない、所要の整備を行いました。改正の主な内容は、延滞金の利率の引き下げです。この条例は、平成26年1月1日から施行されます。



上総十二社はだか祭り

## 後期高齢者医療に関する 条例の一部改正

平成25年3月30日に公布された地方税法の一部を改正する法律の施行にともない、所要の整備を行いました。改正の主な内容は、延滞金の利率の引き下げです。この条例は平成26年1月1日から施行されます。

## 一般会計補正予算（第3次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4千8百12万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を46億1千8百万5千円とするものです。

主な内容は、現在、事業が進められている役場庁舎建設事業の関連経費が中心で、ネットワーク工事費4千9百47万6千円、防災システム工事費1千29万円、備品購入費4千万円などが追加され、その他にも家庭用蓄電システムの設置に対する補助など住宅用省エネルギー設備設置事業78万円などが追加されたものです。

## 国民健康保険事業特別会計 補正予算（第2次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4百57万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ14億6千9百9万5千円とするものです。

主な内容は、人事異動等による人件費の増額、一般被保険者療養費の不足及び平成24年度退職者医療療養給付費等交付金の清算並びに高齢者医療制度円滑運営事業補助金の返還金確定のため増額するものです。

## 介護保険特別会計補正予算 （第1次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1百53万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ9億6千51万8千円とするものです。

主な内容は、平成24年度の支払基金交付金の交付額確定に伴い、保険給付費交付金の追加交付と地域支援事業交付金の超過交付分の返還です。

## 後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1百5万円を追加し、歳入歳出それぞれ1億1千8百67万3千円とするものです。

主な内容は、人事異動にともなう人件費の増額によるものです。

## 同意

教育委員会委員に2名の方が任命され同意されました。

一宮（3区）の中村敏夫さん  
一宮（2区）の山田和雄さん

## 推薦

人権擁護委員に東浪見（原区）の吉田茂さんが推薦され適任と認められました。

## 報告

### 健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成24年度決算の一宮町健全化判断比率及び農業集落排水事業特別会計の資金不足比率の報告がありました。各指標とも基準値の範囲内にはあるが、財政運営は大変厳しい状況との説明がありました。

### 健全化判断比率

項目	一宮町比率 ( )は前年度数値	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	35.00
実質公債費比率	10.0 (11.0)	25.0	35.0
将来負担比率	29.4 (53.0)	350.0	

### 資金不足比率

会計名	一宮町比率	経営健全化基準 (イエローカード)
農業集落排水事業特別会計	—	20.00

※比率に数値が入っていないのは黒字のためです。

# 一般質問 8人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いたたすものです。



- |       |   |
|-------|---|
| 志田 延子 | 1. 東千葉メディカルセンターの支援について …………… (4)  |
| 鵜沢 清永 | 1. 「一宮海岸・釣ヶ崎海岸有料駐車場試行実験」の結果と今後の計画について…………… (5)                                  |
| 鵜野澤一夫 | 1. 大地震、大津波が発生した場合の町の対応について …………… (6)<br>2. 町内の防犯カメラ設置について                       |
| 袴田 忍  | 1. 発達に支援が必要な子ども達への支援について …………… (7)<br>2. ボランティア活動に対する町の支援対策について                 |
| 鵜沢 一男 | 1. 土地改良区に対する補助金は正について …………… (8)<br>2. 保育所移設計画について                               |
| 藤乗 一由 | 1. 保育所移設計画について …………… (9)<br>2. 次年度以降への観光振興のビジョンについて<br>3. 上総一ノ宮駅東口開設に向けての寄附について |
| 鶴岡 巖  | 1. 保育所移転問題について …………… (10)<br>2. 「子ども・子育て会議」の改善について                              |
| 畑場 博敏 | 1. 町長の政治姿勢について …………… (11)<br>2. 国保税引き下げを求める点について                                |



建設が進む東千葉メディカルセンター



志田延子議員

圏央道が、東金まで開通したことで、山武・長生・

地域も負担をすべきと考え、町長に伺う。

東千葉メディカルセンターの支援は

慎重に判断

玉川町長 千葉県保健医療計画では「三次保健医療圏は県全域」としており、整備費用については、本来国、県が負担して整備すべき問題であり、全国でも市町村が負担をするという例がない。

財政支援については、山武郡市の自治体においても同意が得られていない状況であり、各首長への正式要請には至っていない。

今後、県、同センター、周辺市町村などの動向を注視しながら慎重に判断していく。

※3次救急とは  
かぜによる高熱や家庭では処置できない切り傷といった症状を診察治療するのが1次救急で、開業医や休日夜間急患（急病）センター。2次救急は、入院や手術を必要とする患者が対象で24時間体制で手術ができる設備を備えた病院による輪番制。3次救急は生命に危険が及ぶような重症・重篤患者への対応を担う。

# 海岸有料駐車場

## の今後は



鵜沢清永議員

①有料駐車場試行実験の結果と現時点での評価について

②有料駐車場試行実験は、準備・広報のための時間が不十分な面もあったが、今後の検討スケジュールと、有料駐車場を継続するのか、基本的な方針を伺う。



一宮海岸 有料駐車場

また環境整備について、

特に「釣ヶ崎海岸広場有料駐車場」のエコトイレだが、機能が弱いと聞いた。

大会等が行われる時は、主催者によりエコトイレを汲取るか、仮設トイレの設置協力をしているが、このことについて町長の考えは。

### 来年度も実施

いた路上駐車がなくなり、車上荒らしも今年は発生しなかった。

今回の試行実験の課題は、サーファーが有料駐車場を利用するか、利益があるか、路上駐車が増えないかということであったが、すべてクリアし、試行実験は成功と考えている。

釣ヶ崎広場は無人のコインパーキングで、9月2日までの成果は、有料台数461台、金額にして約23万円、経費は1ヶ月6万3千円のレンタル料で、思った以上の収益となった。

こちらも管理人を配置しない駐車場で、大会が多く、大会時は駐車料金を取らないという中で、成功と考えている。

今後関係者からの意見を聞いて、年内に課題を整理し、期間はどのくらいが適当か、人件費等の経費は削減できないかなどを来年の課題と考え、試行実験を続けたい。

環境整備だが、駐車場は砂が堆積している場所もあり、県とも協議し、来年は対策を考えていきたい。

また、これまで目立って  
玉川町長 釣ヶ崎海岸広場

有料駐車場のトイレは平成21年に設置したが、社会実験ということで耐用年数も短かいトイレのため、すでに老朽化しており、多くの人数が使用すると、支障がある。

でいる。そのため、サーフィン大会など人数が集まる大会については、エコトイレを汲取るか、仮設トイレを用意することとなっている。



釣ヶ崎海岸広場トイレの今後は

# 大津波発生時の 対策は



鵜野澤一夫議員

国土交通省は8月22日、西日本を中心に甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震の重点10項目の「対策計画」について、中間報告を公表した。

昨年より防災に関して一般質問してきたが、ライブジャケット以外については、検討、考慮するとの答弁であったので、次の2点について町長に伺う。

- ①県及び町の防災計画書、対策計画書の公表
- ②防災面を考慮した一宮町マスタープランの進捗状況



千葉県地域防災計画書

# ハザードマップ を配布

玉川町長 県の防災計画は、昨年8月に策定されている。内容は千葉県ホームページで確認することができる。

町の防災計画は、昨年より素案の作成業務に入り、関係各課とのヒアリングを行っている。それを元に防災会議の開催、議会への説明、パブリックコメントを実施し、11月中旬に策定し、その後に概要版とハザードマップ（津波、洪水、土砂災害、ゆれやすさ、液状化しやすさ）を全戸配布する予定である。

都市計画マスタープランについては、策定委員会等により『町民意見も聞き、地域防災計画を見据えて防災についても検討し、平成26年度までに完成し公表する予定である。』

# 防犯カメラ の設置を

現在、町内に防犯カメラ

の設置箇所は非常に少なく、銀行関係、スーパー、コンビニ店、駅、ホテル、マンション等の入り口、店内である。これまで町内で大きな事件、事故等は少ないが、今後何が起こるか分からない。

安全で安心な町には人口増も期待できる。防犯カメラ設置に関して次の点を伺う。

- ①公共施設の全施設内、入口及び施設前道路に設置
- ②各企業前道路に設置依頼
- ③国道、県道の交差点及び各橋に設置
- ④各家庭に設置する場合は補助金を

# 設置の 調査検討

峰島総務課長 県内の防犯カメラの設置状況は、県全体で3,875箇所を設置されている。この内、防犯対策での設置が約25%、75%が商店街や学校などが独自で設置したものである。県ではひたたくり対策防犯設備設置補助事業補助金交付要綱が制定されているが、当町は対象外である。



犯罪防止に役立つ防犯カメラ

県内では学校などに多く設置されているが、現在のところ補助金等は無く、各自治体の単費で設置している。

①公共施設の全施設内、入口、施設前道路への設置要望等は現在ないが、設置状況調査やランニングコスト、事件、事故発生率など踏まえ、関係課と協議する必要がある。

②各企業前の道路に設置依頼については、事故、犯罪件数等もほとんど無い中で企業に対して設置依頼をする目的の正当性や設置費用等細かい部分での検討や周辺住民の承諾

防犯カメラの犯罪抑止への有効性は認識しているが、個人のプライバシーの問題や必要性の課題、また今後住民や地域、団体等のニーズ、県内の制定状況等により検討したい。

# 発達障害児の支援は



袴田 忍議員

のか。

- ② 保育所、小学校、中学校での連携と支援体制。
- ③ それに係わる保育士、教職員の配置数について。

## 必要に応じた支援体制で

発達障害児は一定の割合で存在する。出来るだけ早期に発見し、早い段階から適切な支援を行うことで、情緒の安定を図り、社会的生活に適応できるようにする。次の点について伺う。

① 支援が必要な子ども達についての認識はどうか。また、支援を行っている



高師福祉健康課長 保健師が新生児訪問から常に経過を観察しており、子どもに気になる点があれば必要に応じ保護者と随時、育児相談を行っている。支援が必要な場合は、発達支援施設において基本的動作、知識技能、集団生活への適応訓練等は満18歳まで受けることができる。

町田教育長 連携支援体制については、各関係団体により組織される「一宮特別支援コーディネーター連絡協議会」を設置し、支援が必要な児童生徒及び家庭の実態を把握すると共に、本協議会を通じて支援の方向性を共有し、連携体制及び

指導体制を構築している。

また、就学前健康診断や就学指導委員会において適正な就学指導方法を判断し、早い段階での適切な支援に取り組んでいる。

小中学校には特別支援学級を設置し、教職員を配置し、必要に応じ教職員の増置を行っている。

この他、普通学級に在籍する障害のある子どもの学習活動補助のため、特別支援教育支援員を学校の要望に応じて配置を行っている。

井上保育所長 保育所最低基準児童数を基に、年齢に応じた職員配置を実施している。発達に支援が必要な子どもについては個別に担当職員を配置している。保護者の思いに寄り添いながら、全体で遊び、生活するという事を大切に考えている。

## ボランティアへの支援は

町にもボランティア連絡協議会があり、それぞれの団体が、高齢者から若い世代の方まで無償の精神で活



登下校を見守るボランティア

動し、町の活力源になっている。

活動に対する町の考えと支援協力について伺う。

## 支援を検討

玉川町長 活動する団体も

年々増え、多方面で活発化している。活動団体の参加者には、「してあげる活動ではなく、この町に共に暮らす住民として、協力者として活動されている」ことに対して心より感謝している。そして、町からの支援・

## 加盟店の協力を願う

高師福祉健康課長 中学生以下の子どものいる家庭、及び妊婦のいる家庭にチーパスカードを送付した。その後、福祉健康課窓口でカードの案内板を置いていく。

町では現在協賛店が6軒である。優待サービス加盟店が少ないことから、今後、関係課を通じて、商工会等への協力をお願いする。

## 「チーパス」の利用は

子育て家庭優待カード「チーパス」の利用と町内の協賛店はどれくらいあるのか伺う。



## 土地改良区の

## 補助金は是正を



鵜沢一男議員

町内の農業用水路、排水路等の農業施設は土地改良区が維持管理をしているが、これらに対する補助金について伺う。

- ① 東部・西部・網田・松渦の各土地改良区に対する事業費の補助率に格差があるが、その理由と是正をどう考えるか。
- ② 本年度、東浪見地区の農業用ため池の改修工事が予定されているが、改修箇所は町道である。道路管理者である町が積極的な費用負担を行い、土地改良区の負担軽減を図るべきである。
- ③ 来年度、奥谷地区で農業用ため池の大規模改修工事が計画されているが、事業者である土地改良区に対し費用の助成（補助金）をどのように考えて

いるのか。

- ④ 住宅が存在する区域で、住民の生活排水の用途に限られて利用されている排水路についての考えを伺う

## 見直しを 実施

- 小柳産業観光課長 町には4つの土地改良区があるが松渦土地改良区は、両総土地改良区内ということもあり、他の土地改良区より補助率が高く、町の中で格差があり、是正が必要であった。
- ① 町はこの8月に協議し、国・県補助事業、単独事業等があるが、近隣市町村と遜色のない補助率とし、格差を是正した。
- ② 岩切地区の弁天池改修工事は、総事業費1千万円、県補助金500万円、町補助金120万円となっていたが、町道であるため8月に町補助率

を見直して、300万円とした。

- ③ 大欠堰は、国補助事業を計画しているが、総事業費約2億円とする、地元土地改良区は1千800万円の負担と考えている。
- ④ 純然な生活排水路だけに使われている排水路は、町が維持管理を行う。

## 保育所の 統合・移 転を問う

- 現在、検討されている新保育所の建設計画について、質問する。
- ① 保育所の統合移設計画は町の3カ年計画の対象となっていないが、急ぎ進める理由は何か。また、最も老朽化が進み手狭な東浪見保育所の建て替え計画がなかった理由は何か。
- ② 一宮保育所・原保育所を統合・移設して一宮こども園、東浪見保育所を移設して東浪見こども園として民営化する計画の中で町民は民営化に不安や疑問を持つと考える。民営化の中で町では保育行

政に対する公的責任をどのように果たすのか。

- ③ 計画の中で新一宮保育所を建設後に、新東浪見保育所を建設する順序となっていないが同時に進行できないか、東浪見保育所が遅れて建設される弊害を考えているか。
- ④ 「子ども子育て会議」にて議論されている建設予定地・民営化・委託業者の選考基準等の内容については、当該会議の内容として好ましくない。よって新たな議論の場を設ける必要がある。
- ⑤ この事業を進めるためには、最初に町が実施計画を策定し、その方向性を決めることが必要と考える。

## 保育所整備 計画を策定

- 高師福祉健康課長 ①3ヶ年計画策定後に東日本大震災が発生し、津波による一宮保育所の危険性が保護者や議会ですくろアツプされ、一宮保育所の早急な移設が喫緊の課題となったことをふま



どうなる東浪見保育所

え、老朽化著しい東浪見保育所を含めた町保育施設全体の整備の検討に至った。

- ② 各保育所の、防災と老朽化対策のための早急な移設が課題だが、他の公共施設の大規模な改修事業も控えており厳しい財政状況の中で、民営化も選択肢の一つとして検討している。入所申し込みや保育料については、今までと変わらない。引き続き保育サービスの維持・向上に努める。
- ③ 当初、防災の観点で一宮保育所の早急な移設が最優先課題だったが、津波浸水区域に近接する原保育所を含めた2園統合案

や、東浪見保育所も含める3園統合案も出た。しかし現在学区の関係から東浪見保育所単独の移設を考えている。今後関係者と協議し新一宮保育所並びに新東浪見保育所、及び子ども園化について同時に検討をしていく。

- ④ 今後、町検討委員会を設置し、議会や住民の皆様からご意見をいただきました。
- 玉川町長 ⑤ 今後、「子ども子育て会議」からの報告を受け、町の保育所整備計画を策定する。策定にあたっては、議会並びに住民の皆さまからの意見を伺いながら進めていきたい。

## 保育所協議に

### 問題あり



藤乗一由議員

### 開かれた 会議に努める

保育所移転の協議を進めている「子ども子育て会議」は、これまで議会を含め情報の公開がなされていないにも関わらず、一部方面に情報が出されている。

8月の議会説明の際にも、会議内容と結果、重要な資料の一部が不足するなど議会での判断を誤らせかねない説明であった。これらについて説明を求める。

また、昨年の保育所アンケートは、数少ないデータで協議の重要な根拠となっている。

しかし、このアンケートの方法、内容、地域住民からの聞き取り調査、会議での取り上げなどが不十分で、移転検討の根拠には不適正と考えるが見解を伺う。

## 観光振興の ビジョンは

観光・産業の振興には、海岸だけでなく自然環境や、一宮の持つ他の資源も十分生かしたプラン作りが必要だが、次年度以降へ向けた観光振興を今後どのように進める考えか。

### 町のPRに 努める

玉川町長 海岸有料駐車場  
試行実験から、サーフィン



東京駅に設置された電飾看板

による一宮の知名度を再認識した。このイメージを資源として、海以外の自然環境や産物など一宮の魅力を伝え、サーファーとその周辺の客層へ向け観光客誘致、集客力の増加を図るべきと考える。

本年度、町の観光ガイドブックをJTBに委託しており、首都圏数か所でのイベント等にも参加し、PRしてきた。

今後も、9月末の勝浦B級グルメ、1月の東京国際フォーラム等で町の宣伝に努める。

また、東京駅構内に一宮町の電飾看板を設置する。

### 法人の寄附 は慎重に

意見情報の収集・広報にも努め、私自身、一宮町の産品や魅力を伝えるための広報活動にも、今後積極的に取り組むたい。

上総一ノ宮駅東口開設には、企業等に寄附を募るというが、宗教法人など慎重な対応が必要と思われるが、考えを伺う。

### 意見を聞き ながら判断

峰島総務課長 駅東口開設に向けた寄附の募集は、条例施行規則に基づき、「ふるさと納税」として行っている。施行規則では、寄附金が公序良俗に反すると考えられる場合は、受け入れを拒否できると規定されている。宗教法人や政治団体など寄附の受領により、何らかの影響が町に及ぼされる恐れのあるものは、議会や関係機関等の意見を聞きながら、慎重に判断する。

あなたも議会を傍聴しませんか！  
次回は12月5日(木)の予定です

# 保育所移転は 十分な検討を



鶴岡 巖議員

保育所問題は、児童福祉法第2条で「国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」と規定されている。町は、このことを理解しその背景にある保護者の働きやすい社会(町)の中で、



一宮保育所での避難訓練

子どもを育てることができず、町づくりが求められる。保育所移転問題は、災害や老朽化を考えたものだが災害に備えた保育園の避難訓練の状況やハザードマップによる災害危険度の状況はどうか。また、町の財政状態は、「豊かではないが、貧しくない」健全な状態であり工夫次第で、町営の保育所建設も可能と考える。建設に関わる補助金の内容や建設地等、総合的に判

断するためにも3年位の十分な検討期間をとり、悔いのない保育所移転(建設)となることを求め見解を伺う。

## 事業計画を 策定し整備

高師福祉健康課長 町の各保育所では、月1回以上、災害等を想定した避難訓練を行っている。また、ライフジャケットの着脱など、自ら身を守る災害対応訓練を実施している。県が昨年度10mの津波を想定した津波浸水区域図では、町内3保育所とも、浸水想定区域外である。

事業計画を策定し、1日も早い移設を行い保育環境の整備を進めたい。

## 「子ども・子育て会議」 の改善を

先の6月議会で公約実現のための政策を進める場合は、トップダウンではなく集団的な取り組みを求めたが、町長は「独断的で拙速なトップダウンはやめるようこころがける」と答弁された。しかし、今回の保育所移転問題でも、十分な内部での集団的な検討がされずに、民営化の方向を誘導し、「子ども・子育て会議」の運営を進めている。そして、町は、その会議の中で、保育所の民営化や建設場所、業者の選定や基準等まで、審議を求めている。子ども子育て会議の範囲を逸脱した運営をしており問題がある。

玉川町長 保育所の移設には、保護者からの強い要望もあり、今後は、財政面などの具体的な検討を行い、

これまで、町が事務局となり、進めてきた「子ども・子育て会議」への考えと、今後の対応を伺う。



子育ては町の責任で!

## 新たな 検討委員 会を設置

玉川町長 町としては、「子ども・子育て会議」では、移設場所や業者選定等についても、支援法の規定する内容に該当すると考え、参考意見として、その方向性を議論していただいたままであり、町の結論ではない。今後は、「子ども・子育て会議」からの報告書を受けて、町としての計画を策定する検討委員会を設置し、進めていく。芝崎副町長 「子ども・子育て会議」では、保育所の移設についての議論の中で、「民営化という一つの選択肢」について説明をした。

この会議では民営化へ誘導する発言はしていないし、方向性を議論したままである。今後は、検討状況の公開に努め、議会や住民からの意見を伺い進めていく。

今後は、検討状況の公開に努め、議会や住民からの意見を伺い進めていく。

# 「政策誘導の手段に使うな」の声を



畑場博敏議員

安倍内閣は経済財政諮問会議で4年ぶりとなる「骨太の方針」をまとめ、6月14日に閣議決定した。

今回の方針では、地方財政計画一般財源総額の削減



町の住民検診

## 反対意思を連携して表明

見解を伺う。

に手をつけようとしている。交付税算定に「行政努力」と「地域経済活性化の成果」を導入するなど、地方交付税を国の政策誘導の手段に利用し、交付税は地方の固有財源という性格を根本から踏みこじるものがあり、認められない。

この点について国に意見表明すべきであり、認識と

## 福祉後退に異議の表明を

その地方交付税を国が政策誘導の手段に用いることは容認できるものではない。仮にそのような場合には、近隣市町村や県町村会などと連携を密に図りながら、反対の意思を表明していく。

国は8月21日、公的介護・医療・年金・保育の諸制度を全面的に見直す手順を定めた「プログラム法案」の骨子を閣議決定し、秋の臨時国会に法案提出の予定である。内容は、国の責任を後退させ、自立自助の名のもと

に公助を後景に追いやり、住民の負担増を迫るものである。町民の暮らしを守る町は、これまで営々と積み上げてきた福祉サービスの後退の動きには声をあげるべきであり見解を求める。

## 問題があれば改善を要望する

玉川町長 町としては、今後も国や県の制度改正について注視し、明らかに町民に大きな負担を与えるような場合は、関係自治体とともに国・県に要望していきたい。

## 国保税税率引き下げの政治決断を

7月からの国保税大幅引き上げを受けて、町民から驚きと払いきれないなどの悲鳴が上がっている。農家は今年の低米価のなかで一層深刻である。来年4月から消費税が増税される動きもあり、自営業者、小規模零細商店も同様に深刻である。

## 国保の基本

保険証は一人に一枚交付されます



国保のパンフレットより

国保財政の厳しさは現実だが打解の方法を税率アップに求めたことは間違いであり、一般会計からの繰り出しをして、税率を引き下げる政治決断を強く求め、見解を伺う。

として努力してきたが、医療費などの増加がこのままの上昇率で推移した場合、健全な国保運営が図れない状況となるため、今年度やむをえず税率を引き上げた。

## 補助金増額を要望

玉川町長 町では、長生郡市内でも税率の一番低い町

今年度の医療費がさらに伸び、今後歳入が不足した場合には、一般会計からの繰り入れを予定したい。また、財政面で国・県へ補助金の増額を要望している。

## 平成 25 年 第 3 回定例会 提出議案等 議決結果 (9/18)

番 号	議 案 内 容	審 議 結 果	
議案第1号	一宮町補助金検討委員会条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第2号	一宮町健康づくり推進協議会設置条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第3号	一宮町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致
議案第4号	一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致
議案第5号	一宮町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致
議案第6号	一宮町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致
議案第7号	平成25年度一宮町一般会計補正予算(第3次)議定について	原案可決	全会一致
議案第8号	平成25年度一宮町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2次)議定について	原案可決	全会一致
議案第9号	平成25年度一宮町介護保険特別会計補正予算(第1次)議定について	原案可決	全会一致
議案第10号	平成25年度一宮町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1次)議定について	原案可決	全会一致
同意案第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意	全会一致
同意案第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意	全会一致
諮問案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任	全会一致

### 【議長・議員が出席した主な行事】

7月	8月	9月
2日 ○一宮川地区湛水防除施設管理運営協議会総会	1日 ○公立長生病院運営委員会	8日 ○上総国一宮まつり
5日 ○長生郡監査委員連絡協議会総会	2日 ○千葉県町村議会議員研修会	11日 ○議会運営委員会 ○議会議員全体会議
9日 ○一宮町夏期観光安全対策本部設置会議	3日 ○一宮町納涼花火大会	○議会報編集委員会
10日 } ○広域組合議員視察研修	16日 ○保育所移転に伴う説明会 ○一宮町灯籠流し	○議会報編集委員会
11日 ○議会報編集委員会	17日 ○長南町花火大会	18日 ○定例議会
12日 ○市町村議会広報研修会	19日 ○一宮町例月出納検査	20日 ○一宮町例月出納検査
22日 ○長生郡町村議会議長会臨時会	19日 } ○一宮町決算監査	25日 ○議会報編集委員会
23日 ○一宮町例月出納検査	21日 ○九十九里地域水道企業団理事会	26日 ○広域決算審査特別委員会 ○長生郡町村議会議長会臨時会
	23日 ○九十九里地域水道企業団理事会	
	27日 ○広域組合議会運営委員会及び定例会	

発行 一宮町議会  
編集 議会報編集委員会  
発行日 平成25年11月6日  
TEL 0475(42)1421(直)

### 編集後記

前号の「議会だより」から議案の審議結果を可決・否決の記載だけにとどめず賛成反対の内訳を載せています。併せて賛否が分かれた案件は討論の内容も記載してあります。

これは議会で審議され、決定されたことは、皆様の生活に関わる大切な事柄だからです。

今後も、皆様の代表として選ばれた議員個々の考えや、活動状況を詳しく伝えて参ります。

ご愛読と、誠にありがとうございますをいただければ幸いです。

鵜沢 一男 記